

佐渡島まで2m！

11月20日（水）本校の5・6年生と佐渡島にある松ヶ崎小中学校の5・6年生による遠隔授業を実施しました。

9時30分になり、いよいよ遠隔授業の始まりです。日直の号令に合わせて一緒に始まりの挨拶をし、まずは自己紹介からです。

「どちらからしょうか？」

「ジャンケンで決めよう！」

早速、代表者によるジャンケン。うまくできるか心配でしたが、画像が乱れたり、音声が遅れたりすることもなく、まるですぐそばに相手がいるようです。自己紹介では、好きなことや佐渡島に行ったら～等について、大きな声で堂々と話すことができました。

次は、それぞれの故郷や学校の紹介です。「五島」といえば、美しい景色とおいしい食べ物など。「盈進」といえば、鼓笛やえいしんまつり等、3つのグループに分かれて、写真を見せたりクイズを出したりしながら、その魅力をしっかり伝えることができました。その発表を聞いている松ヶ崎小学校の児童がテレビ画面に映っています。大きくうなずいたり、「お～」という歓声をあげたりしながら、楽しそうに聞き入っていました。その反応を楽しむことで、本校の子ども達のテンションもどんどん高まっていったように感じました。

松ヶ崎小学校の発表で特に子ども達の興味をひいたのは「鬼太鼓」実際に和太鼓を叩いたり、踊りを踊ったりしながら、故郷の伝統について分かりやすく紹介してくれました。

発表の後は「質問タイム」それぞれの発表を聞いた子ども達が、自由に意見を交わします。テレビ画面を見ながら、指名したり、質問に答えたりすることで、より相手のことを身近に感じることができました。予定の時間を過ぎても交流が続くなど、遠く離れた学校との交流は、とても楽しく、興味深いものだったようです。



心が育つ「水曜日の朝」

水曜日の朝といえば、瑞雲寺の武藤さんによる「読み聞かせ」です。読み聞かせが始まると子ども達の表情が変わり、お話の世界に引き込まれていることが分かります。読み聞かせの後には、武藤さんからのお話もあります。この本に込められている思いを丁寧に説明してもらうことで、改めて作品のすばらしさを感じることができています。



今年度から、読み聞かせがない朝は、「草取り」の時間にしています。短い時間ですが、学級園や野菜畑のお世話に取り組んでいます。この活動を通して、花の美しさや野菜の生長を感じることができます。作業が終わった畑を見ながら「きれいになった～」という声も聞かれます。頑張った子ども達の手は、泥がついて汚れてしまっていますが、みんなとてもいい表情をしています。

『うつしいものを 美しいと思える あなたのこころがうつくしい 相田みつを』

これからも、いろいろな体験を通して豊かな心を育てていきたいと考えています。